

No.634 (改題594号)
2023年
11月22日(水)

新社会兵庫



週刊 新社会

発行所: 新社会党
〒101-0051 東京都千代田区神田神保町2-10 三成工業ビル3F
TEL. 03(6380)9960 FAX. 03(6380)9963

新社会党兵庫県本部 神戸市中央区中山手通5丁目2-3 ☎078(361)3613 FAX078(361)3614 毎月第2、第4水曜日発行 購読料月400円(1部200円)郵便振替:01120-7-16805

パレスチナに平和と自由を
ガザ地区の虐殺を止める



「即時停戦を」各地で市民がアピール行動

イスラエル軍のガザ地区への攻撃は日々激しさを増し、空爆のほか地上作戦でもガザ市の中心部まで侵襲した。この間、病院や避難所などへの攻撃も相次ぎ、パレスチナ側の死者は1万1千人を超え、うち子どもが4割だと伝えられている。辛うじて命を保っている人々も、食料、水、燃料などが乏しく、厳しい極限状態に置かれ、テレビなどで伝えられるガザ地区の無残で絶望的な光景は目を覆うばかりだ。イスラエル軍は避難のための1日4時間の戦闘休止を始めたものの、停戦の動きかけには応じず、ハマスせん滅まで戦闘を止めようとしていない。こうした中、イギリスでの30万人のデモをはじめ、世界でイスラエルへの抗議と停戦を求める民衆の動きが広がっている。日本でも市民の動きがある。こうした動きが世界中で広がることでは非人道的な窮地に陥るガザ地区の人々を救えないのか。

神戸市では、「市民デモHYOGO」が毎週の木曜定例行動で、10月19日からイスラエル軍のガザ攻撃に抗議し即時停戦を訴えるスタンディングを加えている。マイクやチラシで訴えるほか、ガザ攻撃をめぐってシール投票も呼びかけていて、通りがかりの外国人も投票に応じた(写真)。



通りがかりの外国人もシール投票に参加=11月9日、神戸市中央区

大軍拡・大增税NO!

駅前集会和パレードを実施

11.3 加古川

2市2町総がかり行動

憲法公布から77年の11月3日、「2市2町総がかり行動実行委員会」(代表 小南浩一・元兵庫教育大学大学院教授)は、「大軍拡・大增税ストップ! 武力で平和はつれない。つなごう憲法9条をいかに未来へ」と題した市民集会をJR加古川駅前で開催、約100人が集まった。「2市2町」は加古川市、高砂市、稲美町、播磨町。



加古川中流

(加東市)

ひょうご(145) 描き、歩き

播磨灘に注ぐ川は東から加古川、市川、夢前川、揖保川、千種川の5つがあり「播磨五川」と総称される。なかで最大なのが流路延長96kmと県下最大の一級河川・加古川で、その流域は加古川、高砂、小野、三木、加東、西脇など11市3町にわたる。

高砂市と加古川市に分ける河口付近の干潟にはヨシ群落が広がり野鳥が息する貴重な繁殖環境をなしている。河口付近の流れは緩やかに蛇行し、鉄道や道路などの多くの渡河橋が架かり、両岸は河川敷でグラウンドやコートが占めていて川の流れば川幅の半分もない。加古川大堰の上流あたりからやと川らしくなる。更に遡って中流域に達す

神戸市では、「市民デモHYOGO」が毎週の木曜定例行動で、10月19日からイスラエル軍のガザ攻撃に抗議し即時停戦を訴えるスタンディングを加えている。マイクやチラシで訴えるほか、ガザ攻撃をめぐってシール投票も呼びかけていて、通りがかりの外国人も投票に応じた(写真)。



大軍拡・大增税はNO!とJR加古川駅前には11団体から100人が集まった=11月3日、加古川市

水脈

18年ぶりの「アレ」に加えて、38年ぶりの「アレ」の「アレ」まで達成して評価と人気をさらに高め、いまや「絶対調」なのが阪神タイガースの岡田監督だ。これとは対照的に、このところの「超人気」で「超低支持率」にのたうち回るのが岸田首相である。▼支持率回復をねらって内閣改造をしたのが2か月前。改造に伴う副大臣・政務官人事ではあわせて54人のうち女性の起用は1人もなく、国際的にも大きな驚きと批判の対象となった。が、その批判にはいつものように「適材適所」と居直った。しかし、この「適材適所」からまたもや辞任ドミノだ。この3週間で3人が不祥事で辞任に。しかもその職責と辞任の原因となった事柄の関係が何とも皮肉だ。1人目の文部科学政務官が不倫報道で、次に法務副大臣が選挙違反の奨励で、そして直近は財務副大臣が税金滞納で、とは話が出来過ぎではないか。「適材適所」とは実はこんなブラックジョークだったのか。▼これも岸田内閣へのさらなるダメージとなる。報道各社の世論調査の内閣支持率はいずれも過去最低。もはやレームダック状態と言えようか。これほどまでに国民の信頼を失ってしまっている内閣には一刻も早い退陣を願いたいものである。

# 西宮で沖縄連帯集会

## 9条改憲NO! 西宮芦屋市民アクション



講演では「安保三文書」にもとづく「戦争の準備」が進行している沖縄の実情が報告された=11月4日、西宮市

われている歌を三線の伴奏で参加者も一緒に歌って歌い、会場が盛り上がったとこの講演に。

仲山さんは最初に、「なぜ、『新たな戦前』と呼ばれるのか。その背景には昨年12月に閣議決定された『安保三文書』の存在がある」と切り出し、「現憲法は、軍事力に頼らない平和」を理念としているが、『安保三文書』は、軍事力による平和を理念としていて、そのために戦争の準備が必要だと主張する。それは敵

日本国憲法公布から77年の11月4日、「9条改憲NO!西宮芦屋市民アクション」が沖繩から仲山克洋さん(弁護士)を招いて「安保三文書と沖繩の今」と題した講演会を開き、105人が参加した。講演前には沖繩の民謡や反基地の座り込みで歌

# 今年も尼崎で対面で開催 新社会党が全国青年交流会

新社会党青年学生委員会の第19回全国交流会が10月28、29日の2日間、尼崎市で行われ、全国から約30人が参加した。コロナ禍を経て4年ぶりの対面開催となった。青年学生委員会は数年前には否応なく党の行く末(選挙闘争や組織)の中心を担うことになるという問題意識から、交流会のテーマは「つながり作り」と設定された。1日目は、今春の統一自治体選挙を候補者としてたてた若手7人が選挙報告(うち2人は書面報告)。「看板」となる政党名や組織票などの支

えがない中で、地域で党の存在を知ってもらうためにそれぞれが普段から力を入れている活動や訴えの工夫に加え、勝敗の分析や近況も報告された。分散会では「私たちの政策」づくりに挑戦した。低賃金・物価高・長時間労働に苦しむ自分や周囲



分散会では切実な問題を出し合い「私たちの政策」づくりに挑戦した=10月28日、尼崎市

# 鈴木エイト講演会に280人

## 神戸で市民3団体が共催

「今、統一教会問題を考える。」と題したジャーナリストの鈴木エイトさんの講演会が10月29日、神戸市中央区の神戸市立婦人会館で開かれ、20人のスタッフが立ち見となるなど満席の280人が参加した。

昨年来、テレビ出演も増え、著書も精力的に出版するなど注目されるジャーナリストの講演とあってか、参加者の中には若い人の姿も多くあった。主催したのは、統一教会問題対策市民会議、市民の力で社会を変えよう



「今、統一教会問題を考える。」と題して鈴木エイトさんが講演=10月29日、神戸市中央区

鈴木さんは、2011年からジャーナリストとしての活動を始め、3千日を超えて統一教会問題を精力的に追ってきた自らの活動について、豊富で、また彼だからこそ取材しえた貴重な映像や音声などをフルに使い、時にはユーモアを交えながら詳しく報告。統一教会がカルト集団として行ってきた巧妙な宗教の勧誘

新社会党と社民党を軸とする「護憲の第三極」の勢力の前進が立憲野党共闘の再構築や総がかり市民共闘の再強化につながるとの立場から、これ

# 街に貼り出そう

## 社民党・市民共同のポスター

を地域で宣伝していくために、社民、新社会面党の党首の顔が並んだ「社民党・市民共同」の政治活動用ポスターができています。ぜひ地域での掲出活動。必要な方は新社会党兵庫本部まで。



福島瑞穂、岡崎宏美両党首が並ぶポスター

# 改憲の動きをウォッチング

「任期中の改憲実現」の改憲実現は日程的にもかなり無理がある。立憲野党の憲法審査会など迎えた。憲法前文は「政府の行為によって再び戦争の惨禍が起こることのないようにする」と謳い、この決意をうけ、9条は戦争放棄とそれを確実なものとするため戦力の不保持と交戦権の否認を規定した。公布77年、改めて心に刻み込もう。

こともあろうに岸田首相(総裁)は、国会の場で、記者会見で、「任期中の改憲実現」を繰り返して、国会発議に向け、条文案の具体化など、より積極的な議論が行われることを期待する」とまで踏み込みこんだ。首相が改憲議論の旗を振ることとは憲法99条を踏みしめるものである。

改憲の国民投票は、国会発議から60日、180日の周知期間を設けることになっている。来年9月までの改憲を実現するためには、今臨時国会で改憲案をまとめ、おそくとも来年の通常国会で発議を行う必要がある。来年9月までの総裁任期中

衆院憲法審査会は2日、同紙は「訓練を公表せず国民には犠牲を伴う戦争のリスクを見せないようにする姿勢が表れている」と指摘。識者からは「国民に説明すべきだ」との批判がでている。

吉田統合幕僚長は2日の記者会見で、10日から始まる最大規模の実動演習「自衛隊統合演習」で計画する戦死隊員の遺体取り扱い訓練について問われたが、回答を避けた。有事になれば米軍基地が集中している沖繩が真っ先に攻撃され戦場となる。戦争に反対する全県組織「沖繩を再び戦場にさせない県民の会」は23日、那覇市内で1万人規模の「県民大会」を開催する。

「県民大会」に先立ち、県民の会の代表らが米軍基地がある東京や神奈川などを訪れて、「これは本土の問題だ」と訴えた。

その南西諸島で有事の際、沖繩の地方紙「琉球新報」によると、自衛隊

古島、石垣島にミサイル部隊が配備された。

新報」によると、自衛隊

# 第4回総会開き記念講演

## 大阪高裁無罪判決を足がかりに反撃の強化へ

### 労働組合つづしを許さない兵庫の会

連帯ユニオン関西生コン支部への不当な刑事弾圧に抗し、連帯を広げるために結成された「労働組合つづしを許さない兵庫の会」は11月10日、第4回総会を神戸市内で開き、約60人が参加した。

総会では、呼びかけ人を代表して岩佐卓也さん(専修大学経済学部教授)



立命館大学名誉教授の吉田美喜夫さんの記念講演で改めて関生弾圧の意味を考え反撃の強化を確認した＝11月9日、神戸市中央区

が「弾圧を許さず、怒りの声を上げ、ストライキが当たり前の社会をつくらう」とあいさつ。経過報告では、弾圧を許さない全国アクションの集会、映画「ここから関西生コン事件と私たち」の上映活動などの取り組みが報告され、活動方針では関生支部と広

る支援者らたたかいで勝ち取った大阪高裁での画期的な無罪判決の成果を踏まえて不当弾圧をはね返す活動をさらに進めることなどを確認した。総会議事後は、吉田美喜夫さん(立命館大学名誉教授)による「労使関係の転換で何が問われているのか」と題した記念講演。吉田さんは、差別労働をつぶす刑事弾圧のねらいから説明し、新しい労使関係の確立に向け、憲法の労働三権のうち団交権よりも労働者が組合員になる団結権の行使こそが大切にされるべきだと力説。関生支部はもう一度生コン労働者を取り戻そうと激励した。

最後に関生支部の松村憲一副委員長が決意表明。支援への感謝とともに、「私たちが闘い続けるが、

皆さんも自らの職場で首切りや組合つづしと闘ってほしい。それが労働者

の連帯になる。ストライキで社会を変えよう」と訴え、閉会した。(憲)

いる。さらに来年度からは利用者2割負担の対象を増やす議論がされている。介護職の現役労働者が10万人を超えている。介護保険改悪は高齢者だけでなく働く者の問題でもある」と署名協力を市民に呼びかけた。

熟年者ユニオンやろっこう医療生協など7団体で結成された「兵庫の会」では、介護保険改悪に対し、保険料の引き上げや利用者2割負担の対象拡大に反対するなど3項目を要請事項とした厚生労働大臣あての署名の取り

# 県内各地で街頭宣伝・署名活動

## 介護保険の改悪に反対する兵庫の会

と改悪反対の署名活動に取り組んでいる。複雑な仕組みの介護保険制度で、来年度からの大改悪を知らない高齢者や市民は多いが、ていねいに説明すると予想以上に署名協力への確かな手応えがある。10月18日には三宮のマリイ前で署名行動。山崎貢・「兵庫の会」会長は、「神戸市の介護保険料は20年間で2倍の年額7万6千円に引き上げられて

いる。さらに来年度からは利用者2割負担の対象を増やす議論がされている。介護職の現役労働者が10万人を超えている。介護保険改悪は高齢者だけでなく働く者の問題でもある」と署名協力を市民に呼びかけた。

熟年者ユニオンやろっこう医療生協など7団体で結成された「兵庫の会」では、介護保険改悪に対し、保険料の引き上げや利用者2割負担の対象拡大に反対するなど3項目を要請事項とした厚生労働大臣あての署名の取り



11月2日には灘区のろっこう医療生協・灘診療所前で署名活動を行った＝神戸市灘区

# 介護保険問題で集中討議

## 安心と笑顔の社会保障ネットワーク

安心と笑顔の社会保障ネットワーク(略称「安心ネット」)が、10月29日、神戸市内で第8回総会と講演会を開いた。総会では介護保険改悪をめぐる情勢を確認

し、当面の取り組み方針などを決定。介護保険改悪に関する要望書を神戸市に申し入れることを確認した。

講演会の講師は日下部雅喜さん(大阪社会保障推進協議会)。日下部さんは、介護保険改悪の1つの焦点である「利用者負担の原則2割化、2・3割負担の対象拡大」について、サービス、訪問介護、介護ベッド、

# 地域ユニオン あちこちあれこれ

た刑事弾圧を糾弾し、闘っている。それは、たんに関生支部の活動が特別だからではなく、憲法で保障された労働三権を守る労働者・労働組合の闘いでもあるからだ。

運動の後退に原因があるが、そればかりではない。労働委員会の場でもいつの間にか「常識」になりつつある問題がある。一つは、和解する時に

労働組合活動に対して「あれするな、これするな」という口外禁止事項そのものが、労働組合活動に対する支配介入ではないだろうか。裁判所の和解

と打診され、「会社が非を認め、本人に謝罪を行うことが前提だ」と言ったり、「謝罪と解決金は労働委員会では難しい」と言われた。悪いことをしたら

謝るのは当然だし、中労委では和解時に解決金の支払いも行われることが多い。労働委員会の利用が少なくなると、その労働委員会でも最も発言力のある委員の言葉が、事務局を

含むその労働委員会全体を支配するのだ。こうした和解をめぐる労働委員会の劣化について、あらためて申し入れなどが必要であると思うが、これも労働運動が後退していることが大きく影響しているように思えてならない。



介護保険改悪反対の取り組みの強化などを確認した安心ネット＝10月29日、神戸市

安い給料で働かず、「おかしい」との思いが強くなってきた。ケア労働者の如く改善は公務員化をめざしていくべきだ。「介護職の賃金引き上げは全額国庫負担で行えとの講師の提案に賛成。神戸市への要望書には市として独自に介護ヘルパー賃金の市税投入を含めた援助を明記してほしい」、「医療と介護で長生きできた高齢者がいるが、どう生活を維持するのかについて学んで賢くなりたい。詐欺と思える介護保険はおかしいことばかり。年金は上がらず、物価は高くなる。どう老後

兵庫では「労働組合つづしを許さない兵庫の会」を中心に、連帯ユニオン関西地区生コン支部(関生支部)にかけられ

求められる「口外禁止条項」だ。しかし、よく考えれば、和解はある意味で勝利であり、労働組合は組織拡大のチャンスを手に入れたのである。労働

で明記される口外禁止条項はまったく意味が違ってくるに気付くべきだ。もう一つは、労働委員会からの「和解の打診」である。先日、救済申

申し立て時点ですのような打診があること自体、これまで経験がなかったことである。また調査期日、ある委員の言葉が、事務局を

おかしなと思ったら、まず文句をいう労働組合であり続けよう。塚原久雄(武庫川ユニオン書記長)

権を総批判する」額額(こうけつ)厚さん(山口大学名誉教授、共同テ

2023平和のこい 鈴木宣弘さんに聞く

「戦争させない、9条壊すな!総がかり行動11・24関西集会in兵庫

1000円◎主催11共同テール近畿

(菊地)

